

1 主題名

親身な対応【親切、思いやり】小学校 高B（7）

2 ねらいと教材

（1）ねらい

親切にした行動が誤解を受けてしまったわたしの気持ちについて考えることを通して、周りからの称賛や見返りの有無に関わらず、相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心を持って接していこうとする心情を育てる。

（2）教材名

「くずれ落ちただんボール箱」（学研教育みらい「新・みんなの道徳」5年）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本指導内容は、よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢として、相手に対する思いやりの心をもち親切にすることに関するものである。高学年の段階においては、自他を客観的に捉えられるようになってくるため、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて想像できるようになる。また、地域社会などへ活動範囲が広がり、多様な人々と接する機会が多くなっていく。

指導にあたっては、相手の立場に立ち、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えさせる必要がある。

（2）児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の児童は、友達が泣いていたり困っていたりしたら、すぐに声を掛け、親身になって相談に乗ったり手伝ったりして、一緒に解決しようとしたりする姿がみられる。1学期に行った集団訓練でも、全体のために、班のためには自分は何ができるのかを考えて活動することができた。一方で、自分が良かれと思って行動した時に、それが相手に受け入れられなかったり、周りから認められなかったりした時には不平不満を述べる場面が見られたり、相手を選んだりして親切にする時としない時があることも見受けられる。このような実態から、たとえ評価されなくとも、相手の立場に立ち、自分にできる「親切」について考え、行動できるようになってもらいたいと考える。

（3）使用する教材の特質や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、親切にした行為が誤解をされた主人公の思いについて考えることを通して、ねらいに迫るものである。だんボール箱をおばあさんに代わって片付けるが、店員に誤解され叱られ、おばあさんにお礼を言われるが、嬉しい反面、複雑な気持ちが残ってしまう。親切について様々な面から考えさせ、本当の「親切」とは何かを考えさせられる教材である。

導入では、アンケートを活用し、児童たちが考える「親切」についてイメージを共有する。展開では、自ら手伝おうと考え行動したわたしの思いを共有し、相手の立場に立った親切な思いから私が行動していることを押さえる。そして、店員によって誤解をされたことで、私が抱いた悶々とした思いに対する理解を深める。中心発問では、おばあさんを助けたことについてのわたしの思いを

心情円を活用して考え、親切な行動が誤解されても、親切にできたことのよさについて意見を交流する。展開後段では、親切にするために大切にしたいことを考えさせ、相手の立場に立って親切にしようという心情を育てていくようにしたい。

4 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1 親切に対する意識を共有する。	○みんなは「親切にする」とはどういうことだと思いますか。 ・優しくすること。 ・見知らぬ人でも助けること。 ・困っている人がいたら助けること。	・事前実施したアンケートを活用し、児童の「親切」に対するイメージを共有し、本時で考えてくことに繋げる。
展開	2 教材を読んで考え、話し合う。	○崩れ落ちた段ボール箱を片付けているとき、わたしはどんなことを考えていたでしょう。 ・おばあさんは男の子の所に行けたらどうか。 ・男の子は無事だろうか。 ・私たちが代わりに片付けてあげよう。 ◎おばあさんを助けたことについて私はどう思っているでしょう。 ・こんなことなら助けなければよかった。 ・親切にしたはずなのにやっとする。 ・おばあさんはお礼も言ってくれたしいや。 ・店員さんに誤解をされてもおばあさんにとってはよかったんだからいいや。	・心情円を活用することで、私はおばあさんの立場に立って考え、進んで思いやりのある行動に出たことを押さえる。 ・誤解をされて嫌な思いや、相手の立場に立った行動がない心の機微を心情円で表現し、ペアで見せ合いながら意見を交流する。 ・「誤解されるのが怖いと困っている人も助けられないのか」などの問い返しをすることで、親切にする上での相手の立場に立つことの大切さに気づかせる。
開	3 親切にするために大切なことについて考える。	○今日の学習を通して「親切にする」ために大切なことについて考えたことを書きましよう。 ・相手の立場や状況を考えて行動する。 ・困っている人がいたら助ける。 ・自分の思いやりの気持ちが伝わらなくても、相手を思って助けること。 ・誰に対しても思いやった行動をする。	・考えの理由も一緒に書かせ、問い返していくことによりその考えのもとになっている経験などを引き出すことで、概念的なものに留まらず、児童のこれからの生き方について考えを深める。
終末	4 教師の説話を聞く。	○みんなの中にも誤解を恐れずに親切にしてくれている人がたくさんいます。 ・誤解されることがあってもみんなのためになるなら親切にしていきたい。 ・相手の立場を考えて、相手のためになることを誤解されることを恐れずにしたい。	・これまでの児童の姿を振り返り、行動を価値づけすることにより相手の立場に立って行動することの大切さを改めて感じさせる。

【評価】

- ・周りからの称賛や見返りの有無に関わらず、誰に対しても思いやりの心を持って接することができることの大切さについて考えている。(発言・ノート・行動観察)